

| |
|---------------|
| 近畿地方整備局 |
| 九頭竜川ダム統合管理事務所 |
| 資料配布 |

| | |
|----|---------------|
| 配布 | 平成22年6月17日(木) |
| 日時 | 14時00分 |

| | |
|----|---|
| 件名 | 真名川ダム弾力的管理検討委員会の開催 ～4月14日実施の真名川ダムフラッシュ放流試験結果報告等～ |
|----|---|

| | |
|----|--|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">●真名川ダムでは毎年、ダムを利用して人工的に河川流量を増やし下流の河川環境改善のためのフラッシュ放流試験を実施。●試験の実施にあたっては、河川や生態系にかかる学識者、河川管理者、行政機関、発電事業者、漁業関係者などからなる「真名川ダム弾力的管理検討委員会」において議論。●4月14日に実施したフラッシュ放流試験の調査結果報告と平成22年度の実施方針について、平成22年度第1回委員会を開催。 日時:平成22年6月21日(月)午後2時～午後4時 場所:多田記念大野有終会館 ※会議は公開 委員会資料は当日会場で配布 |
|----|--|

| | |
|------|-------|
| 取り扱い | _____ |
|------|-------|

| | |
|------|-----------|
| 配布場所 | 大野市 情報広報課 |
|------|-----------|

お問い合わせ先
近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所
管理課長 荒木 道男(内線331)
電話 0779-(66)5300(代)

平成 22 年度第 1 回真名川ダム弾力的管理検討委員会を 開催

ダムの洪水調節容量の一部に流水を貯留し、貯留した流水をダム下流の河川環境の保全・向上のために放流する試みを弾力的管理といいます。真名川ダムでは、平成 15 年より、この弾力的管理により確保された容量を活用して、平常時に人工的に河川の流量を増やすフラッシュ放流を行っています。

フラッシュ放流を実施するに際しては、ダム下流河川の環境改善の効果を評価するために必要な調査、分析と調査結果などについて河川や生態系にかかる学識者、河川管理者、行政機関、発電事業者、漁業関係者などからなる「真名川ダム弾力的管理検討委員会」(委員長:角哲也京都大学防災研究所教授、事務局:国土交通省九頭竜川ダム統合管理事務所)に諮り、ご意見・ご指導をいただき行っています。

平成 22 年度の第 1 回委員会を下記のとおり開催し、4 月 14 日に実施した弾力的管理試験の調査結果報告と平成 22 年度の実施方針などについてご議論いただきます。

開催日時 : 平成 22 年 6 月 21 日(月) 午後 2 時～午後 4 時

開催場所 : 多田記念大野有終会館 1 階 106 号室
(大野市天神町 1 番 19 号 TEL 0779-65-8766)

議 題 : ●平成 22 年 4 月のフラッシュ放流試験結果
●平成 22 年度の弾力的管理試験実施方針

委員会の公開 :

委員会は公開します。

当日は会場に受付を設けますので、受付で氏名等をご記入下さい。

受付は、13:30 より行います。

委員会資料、議事概要等は、委員会終了後、ホームページ

(<http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu/managawa/danryoku/index.html>)

で公開します。

「真名川ダム弾力的管理検討委員会」委員

| | |
|------|-------------------------|
| 委員長 | 角 哲也 京都大学防災研究所教授 |
| 副委員長 | 大野市総合政策課長 |
| 委員 | 加藤文男 福井陸水生物研究会代表世話人 |
| 委員 | 高津琴博 真名川水辺の楽校ビオフレンズ会長 |
| 委員 | 国土交通省近畿地方整備局河川管理課長 |
| 委員 | 国土交通省福井河川国道事務所長 |
| 委員 | 福井県河川課長 |
| 委員 | 福井県奥越土木事務所長 |
| 委員 | 北陸電力(株)福井支店大野電力部長 |
| 委員 | 関西電力(株)庄川電カシステムセンター土木課長 |
| 委員 | 真名川土地改良区連合理事長 |
| 委員 | 大野市漁業協同組合長 |